

令和3年度取組報告資料

I コロナ克服に向けた経済対策

令和3年度は、前年度に引き続き感染対策を徹底しながら、コロナ禍で苦境にある市民の生活・暮らしへの支援や、将来不安を解消するための子ども・子育て支援を実施するとともに、コロナに対応した国の財政支援を有効に活用し、事業者への支援や地域経済の再生、アフターコロナを見据えた取組を進めた。

(I) 「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用した本市独自の経済対策（抜粋）

◆ 飲食店・タクシー利用促進事業（事業費 約2.5億円）

コロナの影響により売上げの低迷が長期化している飲食事業者とタクシー事業者の事業継続支援として、プレミアム付きクーポン券（利用期間：令和3年12月から令和4年1月まで）を販売し、地域経済を活性化するための需要喚起を行った。



◆ 飲食店業態転換支援事業（事業費 約0.3億円）

事業継続に向けて、令和3年4月から令和3年9月までの期間に事業形態を転換し、売上確保を図る市内飲食事業者に対し、その業態転換に係る費用の一部を助成した。

◆ 公共交通事業者応援事業（事業費 約1.5億円）

公共交通事業者の事業継続支援として、令和3年11月3日から令和4年1月30日の期間の日曜・祝日に市内全線のバス、電車及びデマンド型乗合タクシーの運賃を無料にし、需要を喚起するための費用を助成した。



◆ 新型コロナウイルス感染症対策短期継続融資（事業費 約3.7億円）

コロナの影響を受けた市内の事業者の資金繰りの安定化を図るため、短期継続融資の信用保証料・利子補給を行う。補給期間は、令和4年1月末までで最長5年間としている。

※事業費は予算ベースで記載

(2) アフターコロナを見据えた観光振興

◆ 桂浜公園整備事業

基本理念「桂浜の貴重な自然と歴史資源を活かし、学びや憩い、楽しみがあふれる公園としての再生の実現」

桂浜公園の魅力向上のため、整備基本構想（平成27年度策定）と基本計画（平成28年度策定）の実現に向け段階的に整備を行うもの。
 コロナ禍では屋外観光地の需要回復が早いことから、自然景観や体験をベースとした観光地のブラッシュアップ等により、観光需要の確保を目指す。
 令和2年度に施設の耐震補強設計、令和3年度は観光案内所や休憩所等の公的施設の整備、商業施設の耐震補強工事を行い、順次供用を開始。
 令和4年度は指定管理者による商業施設のリノベーション等を行い、令和4年10月のプレオープン、令和5年3月のグランドオープンを目指す。

令和3年度事業

①【観光案内所・バス待合所整備】

- ・観光案内所・バス待合所の内外装改修
- ・空調の改修（換気機能の向上）
- ・テレビモニターの設置
- ・情報コーナーの設置 など

②【休憩所整備】

- ・本浜休憩所をゆっくりと海を眺められるビュースポットとして整備（1階に休憩所、トイレ、屋上に展望台）など

③【公衆トイレ】

- ・内外装改修
- ・便器の洋式化 など

④【サイン整備】桂浜公園全体

- ・総合案内板等の設置
- ・避難経路の表示
- ・歴史資源の解説板の設置
- ・多言語表示（QRコード活用）など

⑤【園路整備】

- ・船着き場からの動線の舗装、手摺の設置
- ・龍馬像への園路、本浜のカラー舗装

⑥【Wi-Fi整備】

- ・エントランスエリア全体、龍馬像周辺、本浜休憩所、竜王岬周辺への公衆無線LANの整備

観光遊覧船
船着き場整備
（県整備）



駐車場入口便所

観光案内所

駐車場奥便所

本浜東便所

本浜東休憩所

サービスエリア
休憩所・便所

本浜休憩所

本浜西便所・
休憩所

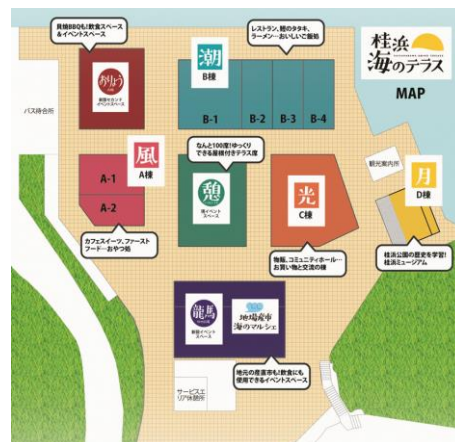
<バス待合所>



令和4年度事業（予定）

令和4年度からは、桂浜公園の管理運営業務に指定管理制度を導入し、官民連携で桂浜公園の魅力向上に取り組む。

年間を通じた新たなイベントを実施するほか、QRコード付イラストフォトパネルの設置、船着き場を活用した取組、桂浜散策MAPの作成等によってにぎわいの創出を目指す。



高知観光の一大拠点の誕生



【整備イメージ（イベントスペース等）】

2 行政・社会のDXの推進

(1) 過疎地域におけるICTの利活用

国の方針

ヒューマン、デジタル、グリーンを柱とする「まち・ひと・しごと創生基本方針2021（令和3年6月18日閣議決定）」では、デジタル・トランスフォーメーション（DX）による地域課題の解決を推進している。

高知市の取組

令和2年度から令和3年5月の「中間とりまとめ」まで、外部有識者や地元代表者らで構成する「鏡・土佐山ブロードバンド利活用協議会」において、両地域におけるICT利活用策を検討し、主な議論を「健康福祉・子育て」、「防災」、「農業」、「移住・定住」の4つの分類に大別した。

令和4年度は、遠隔で保健師との健康相談などを行うスマートヘルスケア事業を鏡地域で試験的に開始する（詳細は資料2参照）。

健康福祉・子育て分野

高齢者の見守り、健康維持等

防災分野

防災情報のリアルタイム共有、
ドローンによる災害時の物資運搬 等

農業分野

農作業の省力化、有害鳥獣対策 等

移住・定住分野

新しい人の流れの創出

(2) 行政手続のオンライン化

概要

市民の利便性向上を図るとともに、窓口での非接触型対応を進めるため、令和3年度は、住民票の写しや印鑑登録証明書のコンビニ交付サービスを開始した。

今後も国の自治体DX推進計画に則して、子育て・介護関係の手続や、転出届・転入予約、罹災証明書の発行申請等について、マイナポータルからマイナンバーカードを利用した手続が行えるように対応を進める。



マルチコピー機（イメージ）

<オンライン化を進める手続>

子育て関係（15手続）

児童手当等の受給資格及び児童手当の額についての認定請求
児童手当等の額の改定の請求及び届出
氏名変更／住所変更等の届出
受給事由消滅の届出
未支払の児童手当等の請求
児童手当等に係る寄附の申出
児童手当に係る寄附変更等の申出
受給資格者の申出による学校給食費等の徴収等の申出
受給資格者の申出による学校給食費等の徴収等の変更等の申出

児童手当等の現況届
支給認定の申請
保育施設等の利用申込
保育施設等の現況届
児童扶養手当の現況届の事前送信
妊娠の届出

介護関係（11手続）

要介護・要支援認定の申請
要介護・要支援更新認定の申請
要介護・要支援状態区分変更認定の申請
居宅（介護予防）サービス計画作成（変更）依頼の届出

介護保険負担割合証の再交付申請
被保険者証の再交付申請
高額介護（予防）サービス費の支給申請
介護保険負担限度額認定申請
居宅介護（介護予防）福祉用具購入費の支給申請
居宅介護（介護予防）住宅改修費の支給申請
住所移転後の要介護・要支援認定申請

被災者支援関係（1手続）

罹災証明書の発行申請

住民基本台帳関係（1手続）

転出届・転入予約

3 地域資源を活用した新たな人の流れの創出 ～SDGsの達成に向けて～

(1) 長浜・御畳瀬・浦戸地域振興計画推進事業



地域おこし学校「こうちみませ楽舎」の開校

楽しみながら地域づくりを学び、そこで生まれたアイデアを形にする学びと実践の「こうちみませ楽舎」を令和3年度から本格開校。地域住民との協働による地域活性化を目指す。



- 申込者34名(修了者32名)
- 平均年齢44歳(最年少9歳・最年長86歳)
- 地域外参加率70%

- 教室① 学校活用プロジェクト
「教室活用プランづくり&DIY」
- 教室② 商品開発プロジェクト
「地域食材でご当地バーガーづくり」
- 教室③ 情報発信プロジェクト
「絵と文字で伝える地域のストーリーづくり」



受講生が考案した
元親武者ムシャバーガー

地域の魅力・イベント等の強化・発信

地域の魅力やイベント情報等を発信する地域限定広報紙「新・里海かわら版」の発行に加え、令和3年度はInstagram, LINEを開設。

- 広報ボランティアの育成(現在7名)
地域限定広報紙「新・里海かわら版」の発行に向けて取材や記事づくりに取り組むとともに、SNSを活用した地域情報の発信等を行う。
- 地域協働イベント等の開催
長浜・御畳瀬・浦戸地域で行われているイベントを地域等と協働で開催。令和3年度は地域資源であるユリをテーマに「こじゃんと!ゆり海道」を企画。
(※コロナにより中止)



(2) 鏡川流域関係人口創出事業



鏡川流域パートナーシップ
KAGAMIGAWA LOCAL AREA PARTNERSHIP

鏡川流域関係人口講座の開催

鏡川流域の恵まれた自然の中で多様な活動ができる人材を育成するため、流域内外の方を対象とした2つの講座を開催(実施期間:R3年度~R5年度)。

■流域内講座「鏡川RYOMA流域学校」

- ・申込者28名
- ・鏡川流域の現状や地域の未来を考えるワークショップやフィールドワーク、鏡川流域との関わり方プランの作成などの講座を4回開催



フィールドワーク(久重地区)

■流域外講座「エディットKAGAMIGAWA」

- ・申込者25名
- ・地域の編集術に関する講義、オンラインフィールドワーク、鏡川流域との関わり方プラン作成などの講座を4回開催

電子地域ポイントシステム「まちのコイン」の導入

多様な人材の参加と関わりを促進するためのネットワークインフラとして、スマホアプリの電子地域ポイントシステム「まちのコイン」を導入。

令和4年3月から運用開始(詳細は資料2参照)。

<まちのコイン活用事例>



桑尾沈下橋周辺の清掃に協力
してください!

+400 もらう

鏡川・桑尾沈下橋&古民家活用プロジェクト



目の前に鏡川が流れる古民家
/半日利用券

-800 あげる

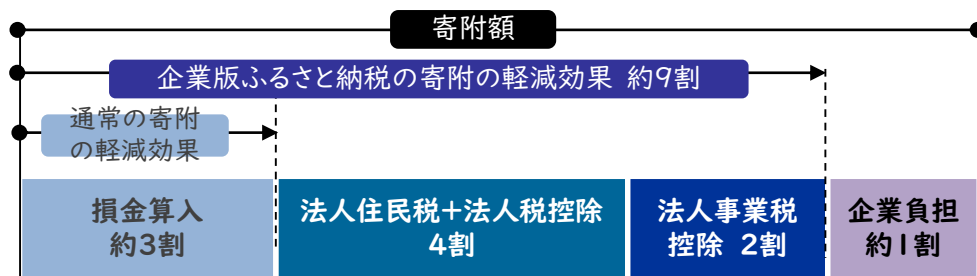
鏡川・桑尾沈下橋&古民家活用プロジェクト



4 地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）

制度概要

地方公共団体が実施する地方創生の取組（総合戦略掲載事業）に対し、企業が寄附をした場合に法人関係税の税額控除の特例措置が受けられる制度



◆寄附の要件

- ・10万円以上の寄附が対象
- ・本社が所在する地方公共団体への寄附は対象外
- ・寄附企業への経済的な見返りは禁止

【令和3年度の実績】

【寄附事業】鏡川流域関係人口創出事業

第一生命保険株式会社 様

（本社所在地 東京都千代田区有楽町一丁目13番1号）

寄附額：500千円

受領日：令和4年2月9日



【寄附事業】長浜・御畳瀬・浦戸地域振興計画推進事業

株式会社JECC 様

（本社所在地 東京都千代田区丸の内三丁目4番1号）

寄附額：3,500千円

受領日：令和4年2月18日



複数年度にわたり寄附金を活用できるようにするため、令和4年3月に「高知市まち・ひと・しごと創生基金」を設置。

今後も専用サイト等を通じて寄附の拡大を図る。



内閣府 企業版ふるさと納税ポータルサイト



主な募集事業

5 高知商業高校「地方創生プロジェクト」

高知商業高校の「地方創生プロジェクト」は、高知商業高校と高知市の連携事業として、平成30年3月から始動。

生徒会執行部の約20名の生徒が中心となり、人口減少などの社会問題を自分事と捉え、地方創生に資する具体的な活性化策の実現に向けた活動を展開した。

(1) 平成30年度から令和2年度までの取組概要

平成30年度は、高知市の施策について講義を実施。商業高校の生徒や移住者等に対するアンケート調査を実施し、その調査結果を基に「市長と語ろう会in高知商業高校」にて提案発表を行った。

令和元年度は、高知市まち・ひと・しごと創生有識者会議の委員である東森歩氏（ファン度レイジング・マーケティング代表）を講師に迎え、商品開発の学習会を5回にわたり開催した。

令和2年度からは、県内の民間企業も参画して、共同で商品開発を進めた。

(2) 令和3年度 of 取組概要

■ 令和3年度は4月から10月にかけて商品開発に向けた会議を計7回開催。2商品を開発し、11月に岡崎市長に報告。

4月	商品開発会議（アイデア出し）
5月～7月	商品開発会議（商品の検討）
8月	商品開発会議（商品の検討及び発売に向けた準備）
9月～10月	商品開発会議（発売に向けての準備）
10月27日	商品発売開始
11月2日	市長への成果報告



《市長への報告の様子》

開発商品

■ ノンアルコール除菌シート

「子どもに衛生教育を楽しく学んでほしい」「除菌シートは、ノンアルコール・パラベンフリーでアレルギー反応を低く」という生徒の考えで開発した商品。除菌シートの蓋に貼るシールがついており、楽しく自主的に除菌できる工夫がされている。



■ グアバクッキー・チップス

有機農法で栽培したグアバを使用した無添加、グルテンフリーなからだに優しいクッキー・チップスを開発。開発企業は、障害のある方の雇用など、農福連携にも取り組んでいる。商品のパッケージ作成にも学生が関わった。



これらの商品は、SDGs達成を目指してつくられており、売上げの一部はラオス学校建設活動に活用する。
※令和4年4月25日に1回目の集計を行い、寄付金50,800円の実績となっている。次回の集計は令和4年12月末を予定している。

除菌シートは、ファミリーマート高知市役所店、高知市内の幼稚園で、グアバクッキー・チップスは、ファミリーマート高知市役所店や、てんこす、高知蔦屋書店、とさのさと、アグリコレット等で販売。
今後も、販路拡大に向けた活動展開を図る。

6 専門部会の活動報告

専門部会は、総合戦略の実効性の確保を目的に、市内横断的な課題への対応等について協議するために設置するものである。令和3年度は、「高知市交通政策推進部会」を設置し、市民ニーズに即した持続可能な交通体系の構築と、市民・事業者・行政が共に支え合う仕組みづくりなどの指針となる「2022高知市交通基本計画」の策定に向けて協議を行った。

高知市交通政策推進部会

<構成>

- ・政策企画課 ・地域活性推進課 ・地域コミュニティ推進課
- ・くらし・交通安全課 ・地域共生社会推進課 ・障がい福祉課
- ・高齢者支援課 ・保育幼稚園課 ・新エネルギー・環境政策課
- ・商工振興課 ・観光振興課 ・都市計画課 ・道路管理課
- ・道路整備課 ・学校環境整備課

活動概要

開催日	主な議題
第1回 (R3・7.5)	<ul style="list-style-type: none"> □ 2022高知市交通基本計画の策定スケジュール □ 現行計画の概要と取り巻く環境の変化 □ 現行計画の総括 □ 2022高知市交通基本計画の方向性と概要(案)
第2回 (R3・11.11)	<ul style="list-style-type: none"> □ 2022高知市交通基本計画(概要・素案) □ パブリック・コメントの実施 □ 意見交換
第3回 (R4・2.10)	<ul style="list-style-type: none"> □ パブリック・コメントの結果 □ 2022高知市交通基本計画 □ 高知市交通問題審議会からの答申 □ 電車・バス無料デーの総括



2022高知市交通基本計画の概要

目的 市民のニーズに即した持続可能な交通体系の構築と、市民・事業者・行政が共に支え合う仕組みの実現を図るために、交通全般について、めざすべき将来像の実現に寄与することを目的とする。

計画期間 基本構想 2012（平成24）～2031（令和13） 20年間
基本計画 2022（令和4）～2031（令和13） 10年間

計画対象 公共交通、自動車交通、徒歩・自転車交通（交通全般）

基本理念 安全・快適で環境にやさしい みんなで支え、明日へつなぐ交通空間
～市民・事業者・行政が連携・協働した効率的な交通体系を目指して～

将来像 人とまちをつなぎ、環境を守りにぎわいをうむ高知の交通

基本目標	施策の方向性	個別施策
基本目標1 いきいきとした 市民生活を支え、 人と環境にやさしい交通	① 地域交通の整備	1 生活道路の改善 2◎ 生活交通の確保・維持 3◎ バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進
	② バリアフリーの推進	4 自転車・歩行者の通行空間の安全確保
	③ 環境負荷の低減	5 環境にやさしい移動手段の推進
基本目標2 人とまちをつなぐ 安全・快適な交通	④ 公共交通の利便向上	6 利用促進・広報活動の実施 7◎ 総合的な地域公共交通ネットワークの再編 8 利便性の高い運行サービスの提供 9◎ 交通結節機能の強化
		10 サイクルアンドライド・パークアンドライドの推進
		11 道路交通網の再編
基本目標3 高知の魅力・活力 を高める交通	⑤ 広域交通の強化	12 高規格道路及び幹線道路等の充実
	⑥ 観光等の強化	6再 利用促進・広報活動の実施 13 観光地間の移動手段の利便性・快適性の向上 14◎ 移動そのものを活かした地域づくり
	⑦ 地域活力の向上	12再 高規格道路及び幹線道路等の充実 15◎ 自転車を活用したまちづくりの推進 16◎ まちなかを歩きたくなるまちづくり
基本目標4 市民・事業者・行政が 連携・協働し、 支える交通	② バリアフリーの推進	17◎ 地域ぐるみで支える交通環境づくり
	⑨ 交通安全	18 交通安全思想の普及徹底
		19 交通安全施設その他の整備 20 自転車の安全利用と駐輪対策

※◎は複数の施策をパッケージ化し、市民・事業者・行政が連携・協働して一体的に取り組む施策（横断的施策）

交通ネットワークの形成

J Rを広域幹線、路面電車を都市幹線として、公共交通のネットワークを形成し、路線バスが、周辺エリアと中心部をつなぐ支線・循環線の役割を担う。

また、周辺エリアでは、乗合タクシーなどで地域内をきめ細かく運行する地域交通システムを構築する。

そして、それぞれの交通が結節点（主要ターミナル、地域ターミナル、乗換ポイント）において、結節機能の強化を図ることで、持続可能な交通ネットワークを形成する。



2022高知市地域公共交通計画の概要

参考

目的

地域の暮らしと産業を支える交通が重要となる一方で、モータリゼーションによる利用者減や運転者不足等の社会経済情勢を踏まえ、多様な交通手段が相互に連携した、将来にわたって持続可能な公共交通ネットワークづくりを実現するため、高知市地域公共交通計画を策定。

計画期間

2022（令和4年）年度～2026（令和8年）年度 5年間

計画区域・対象

市全域／公共交通機関全般（鉄道・路面電車・路線バス・乗合タクシー）

基本方針

市民とともに、支え・育み、次世代へつなぐ公共交通

基本目標

- 1 地域公共交通の総合的なネットワークの構築
- 2 利用者ニーズに即した公共交通サービスの提供
- 3 すべての人が利用できる公共交通環境の形成
- 4 事業者、行政、市民の積極的な利用促進

施策

事業

① 総合的な地域公共交通ネットワークの再編	1 地域ぐるみで支える仕組みづくり
② 交通結節機能の強化	2 バス路線の再編
③ 利便性の高い運行サービスの提供	3 鉄道を活用した広域幹線の機能強化
④ サイクルアンドライド・パークアンドライドの推進	4 コミュニティ交通の導入
⑤ 生活交通の確保・維持	5 交通結節ポイントの機能強化
⑥ バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進	6 運行ダイヤ・運行便数・運賃等の見直し
⑦ 利用促進・広報活動の実施	7 サイクルアンドライドの推進
	8 パークアンドライドの推進
	9 バス路線の確保・維持
	10 乗合タクシーの確保・維持
	11 バス停・電停等の利用環境の改善
	12 バス・電車車両の改善
	13 路面電車を活かした魅力づくり
	14 多様な情報サービスの提供
	15 イベント等における広報活動



J R



路面電車



路線バス



デマンド型乗合タクシー

<地域内交通イメージ図>

